

堀川浜簡易調査報告書概要版

- 1 日 程 令和 6 年 5 月 8 日（水） 大潮
- 2 時 間 ・ 1 回目 午前 1 0 時（干潮時） 曇り
・ 2 回目 午後 4 時（満潮時） 曇り

3 調査結果

（1） 1 回目：干潮時（P6～14／P 7 表 2 に結果一覧）

- ・ 海岸浸食の影響により、例年同様、砂浜の勾配は急であった。
- ・ エリア 1 の手前、汀線から 10 歩ほどで、約 15m×15m の水深 1 m 程度のエリアが出現。満潮時には水があふれ、離岸流となることが懸念された。
(P10 図 22～25)
- ・ 25m 地点：地形は遠浅で安定
- ・ 50m 地点：水深 0.4m 程度で、流れはほぼ無し。地形に凹凸が見られた。
- ・ 75m 地点：水深が急に深く（1.8m 程度）なるとともに、沿岸方向へ強い流れが発生しており、遊泳には危険な状況
- ・ エリア 2 は、汀線から 10m ほどで 0.6～0.8m 程度の深みがあり、その後、浅瀬と深みを繰り返す地形となっていた。干潮のため水量は少なく、流れは弱かった。

（2） 2 回目：満潮時（P18～23／P19 表 4 に結果一覧）

- ・ 砂浜は 10m 程しかなく、海岸利用者が休憩できるスペースが確保できない。
- ・ エリア 1 の手前の深みは、幅 30m 程になり、固定型の離岸流が形成されていた。
- ・ 25m 地点：水深が 1 m 程あり、砂浜の勾配が急なことがわかる。波の力が強く、体の小さな子供は流される危険がある。
- ・ 50m 地点：水深が 1.5m 以上あり、波が押し寄せると 2 m 近くなる。流れも強く、遊泳には適さない状況。
- ・ 75m 地点：危険な状況のため調査不可
- ・ エリア 2 は、離岸流の流れが強く、遊泳は困難な状況。

4 総 括

海況・地形など自然条件から見ると、今年度も、特に満潮時や高波時には海水浴場として、非常に危険なコンディションとなっている。

平成 21 年度に途中閉鎖した状況から改善は見られず、低気圧や台風の影響により、さらに状況が悪化することが予想される。